





2022年3月期第3四半期 決算説明資料

株式会社フレアス

2022年2月

東証マザーズ：7062

-  **2022年3月期第3四半期 決算概要**
-  **Appendix**



2022年3月期第3四半期 決算概要



宣言解除に伴い、利用者数の回復傾向

決算概況

- 宣言解除の影響で利用者が回復基調、高頻度でのサービス提供の継続により、利用者1人当たり利用回数は高水準を維持、売上高は前年同期比17.7%増の3,182百万円
- コロナ禍でのコスト節減体制を維持し、営業利益199百万円を計上（前年同期は▲66百万円）

3Qの取り組み

- 高頻度でのサービス提供の推進を継続し、利用者1人当たり利用回数は高水準を維持、施術者1人当たりの施術回数も増加し、労働生産性を向上
- 介護施設への営業部隊である法人営業部の積極展開により、サービス提供する施設数が増加
- フランチャイズ展開においては、テレビ会議システムなどを活用した営業・研修により、加盟店の新規開拓に注力
- フランチャイズ契約後の1か月間、近隣の直営事業所が立ち上げ支援を行う新プランの提供

拠点展開

- 在宅マッサージ拠点数は**326拠点**（2021/3末）⇒ **343拠点**（2021/12末）
更なるサービス提供拠点の拡大を目指す
- 訪問看護拠点数は**5拠点**（2021/3末）⇒ **7拠点**（2021/12末）
- 訪問介護拠点数は**1拠点**（2021/3末）⇒ **2拠点**（2021/12末）
訪問マッサージとの複合による在宅サービスの総合提供を目指す



2022年3月期第3四半期決算の概要

- 宣言解除の影響や利用回数が増加し、売上高は前年同期比17.7%の増収
- コロナ禍でのコスト節減体制の維持により、黒字を確保
- コロナの影響や新規事業の先行コストを勘案し、業績予想は据え置き

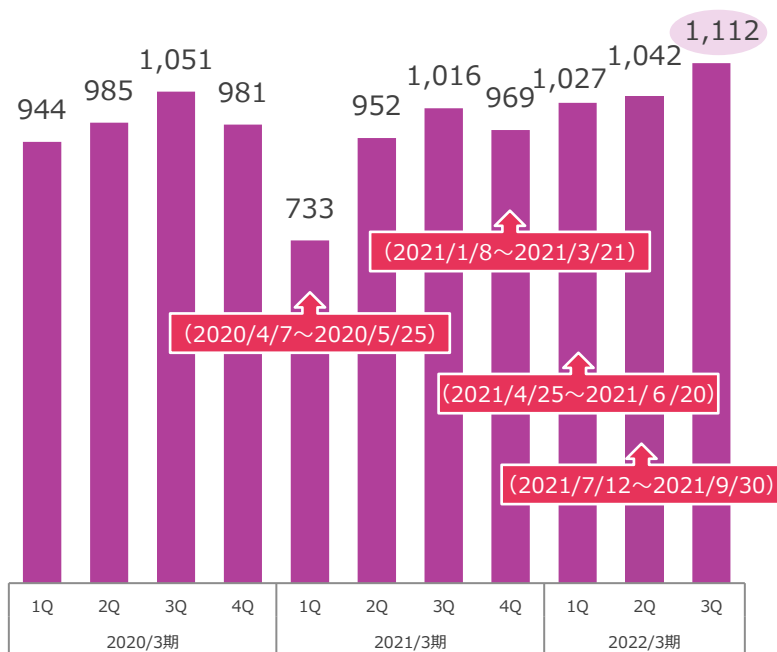
(百万円)	2021/3期	2022/3期		対前年同期比	対通期予想 進捗率
	3Q実績	3Q実績	通期予想		
売上高	2,702	3,182	4,267	+17.7%	74.6%
売上原価	1,549	1,573	2,083	+1.5%	75.5%
売上総利益	1,153	1,609	2,184	+39.5%	73.7%
販管費	1,220	1,409	1,999	+15.5%	70.5%
営業利益	▲66	199	182	—	109.0%
営業外収益	120	44	37	▲63.0%	119.6%
営業外費用	10	7	8	▲26.0%	97.4%
経常利益	43	236	211	+446.7%	111.9%
当期純利益	14	166	123	+1076.9%	135.1%
1株当たり当期純利益	6.07	71.36	52.83	+1075.6%	135.1%
売上高総利益率	42.7%	50.6%	51.2%	+7.9%pt	—
営業利益率	—	6.3%	4.3%	—	—
経常利益率	1.6%	7.4%	5.0%	+5.8%pt	—

四半期別業績推移

- 宣言解除の影響と高頻度でのサービス提供の推進継続により、利用回数が増加し、売上高はコロナ禍前2020年3月期3Q比において増収
- 売上高増加とコスト節減体制の維持により、営業利益は前年度第2Q以降、黒字を継続

売上高

(百万円)

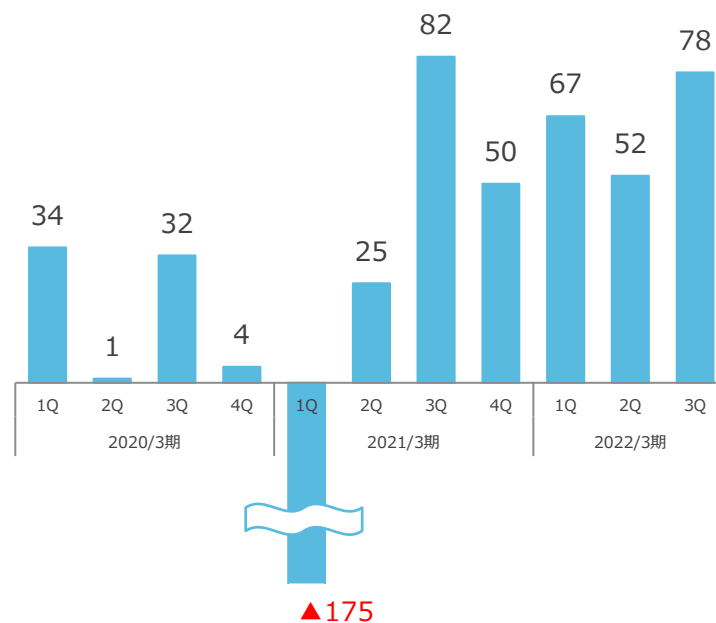


東京都における緊急事態宣言期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。

営業利益

(百万円)



▲175

2022年3月期第3四半期決算（セグメント）

- マッサージ直営事業は、利用回数の増加に伴い、前年同期比10.8%の増収
- マッサージフランチャイズ事業は、拠点展開が順調に進展したことにより、大幅な増収増益
- その他事業は、訪問看護拠点の新設や看護小規模多機能型居宅介護の展開に向けた先行投資により赤字

(百万円)	2021/3期	2022/3期		対前年同期比	対通期予想 進捗率
	3Q実績	3Q実績	通期予想		
売上高	2,702	3,182	4,267	+17.7%	74.6%
マッサージ直営	2,224	2,463	3,273	+10.8%	75.3%
マッサージフランチャイズ	260	448	619	+72.5%	72.4%
その他	218	270	374	+23.9%	72.1%
営業利益	▲66	199	182	-	109.0%
マッサージ直営	327	639	807	+95.0%	79.2%
マッサージフランチャイズ	60	137	196	+127.9%	70.0%
その他	14	▲35	▲47	-	-
調整	▲469	▲541	▲774	-	-
期末総レセプト数（件）	8,454	9,056	9,209	+602	-
マッサージ年間利用回数（回）	457,547	500,109	662,966	+42,562	75.4%
マッサージ拠点数（FC含む）	308	343	346	+35	99.1%

※期末総レセプト数は、保険適用のマッサージ+鍼灸サービスの数値を記載しております。

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

※期末総レセプト数及びマッサージ年間利用回数は、マッサージ直営事業における数値を記載しております。

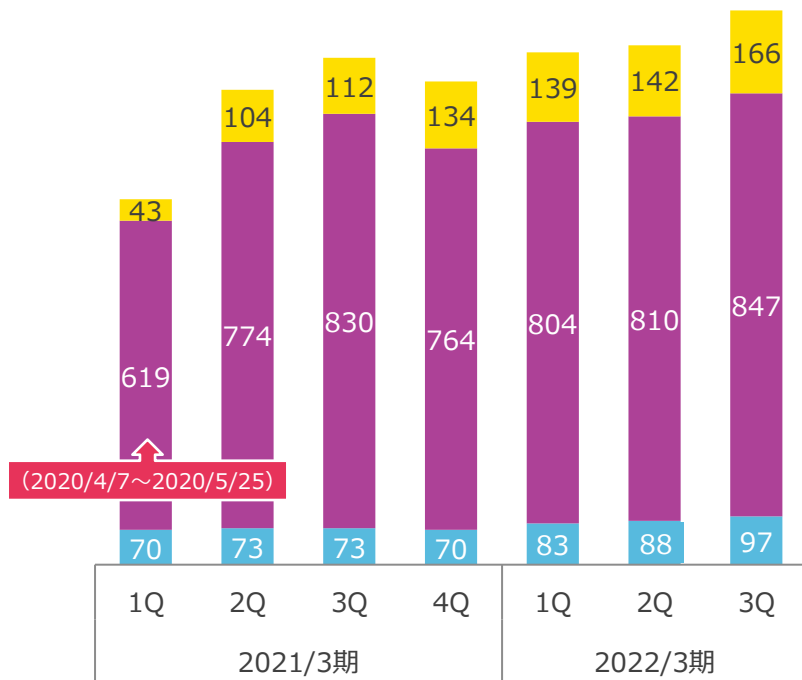
四半期別セグメント業績推移

■ マッサージ直営事業、マッサージフランチャイズ事業は緊急事態宣言が解除されたことや、第1回緊急事態宣言（2020/4/7～2020/5/25）が終了した前年度2Q以降は休止期間中の症状悪化により、マッサージ需要が増加し、売上、営業利益ともに回復基調を維持

売上高

(百万円)

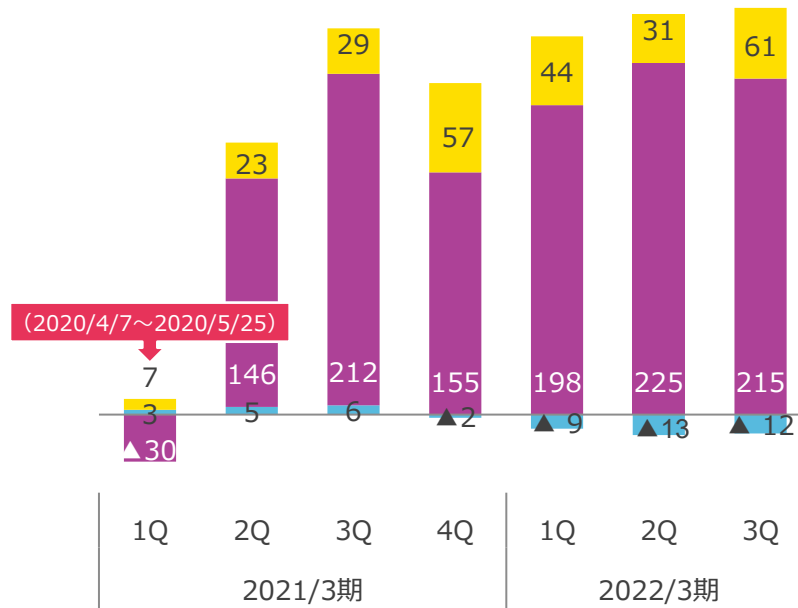
■ その他 ■ マッサージ直営 ■ マッサージフランチャイズ



営業利益

(百万円)

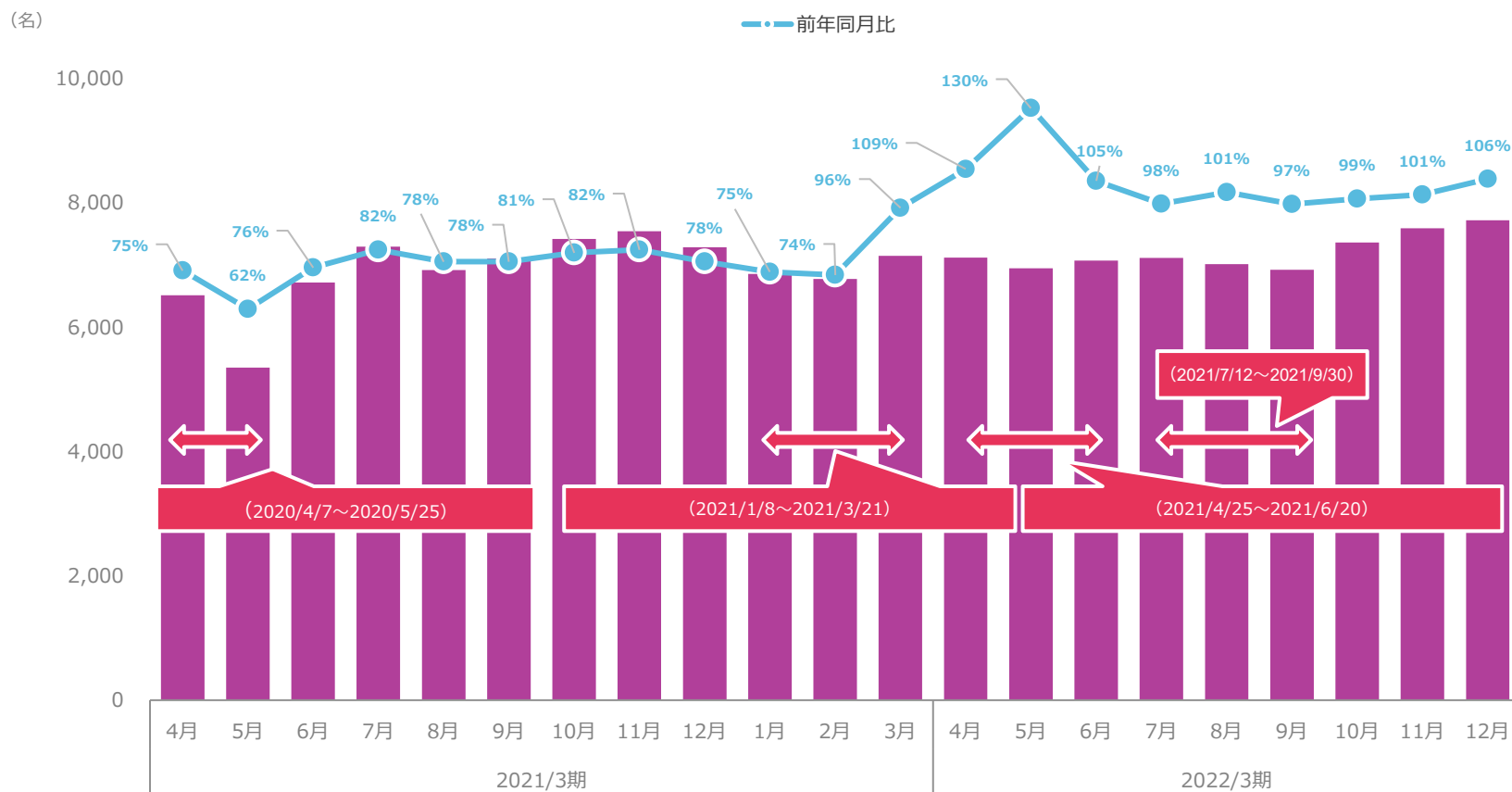
■ その他 ■ マッサージ直営 ■ マッサージフランチャイズ



東京都における緊急事態宣言期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。

利用者数推移 (前年同月比)

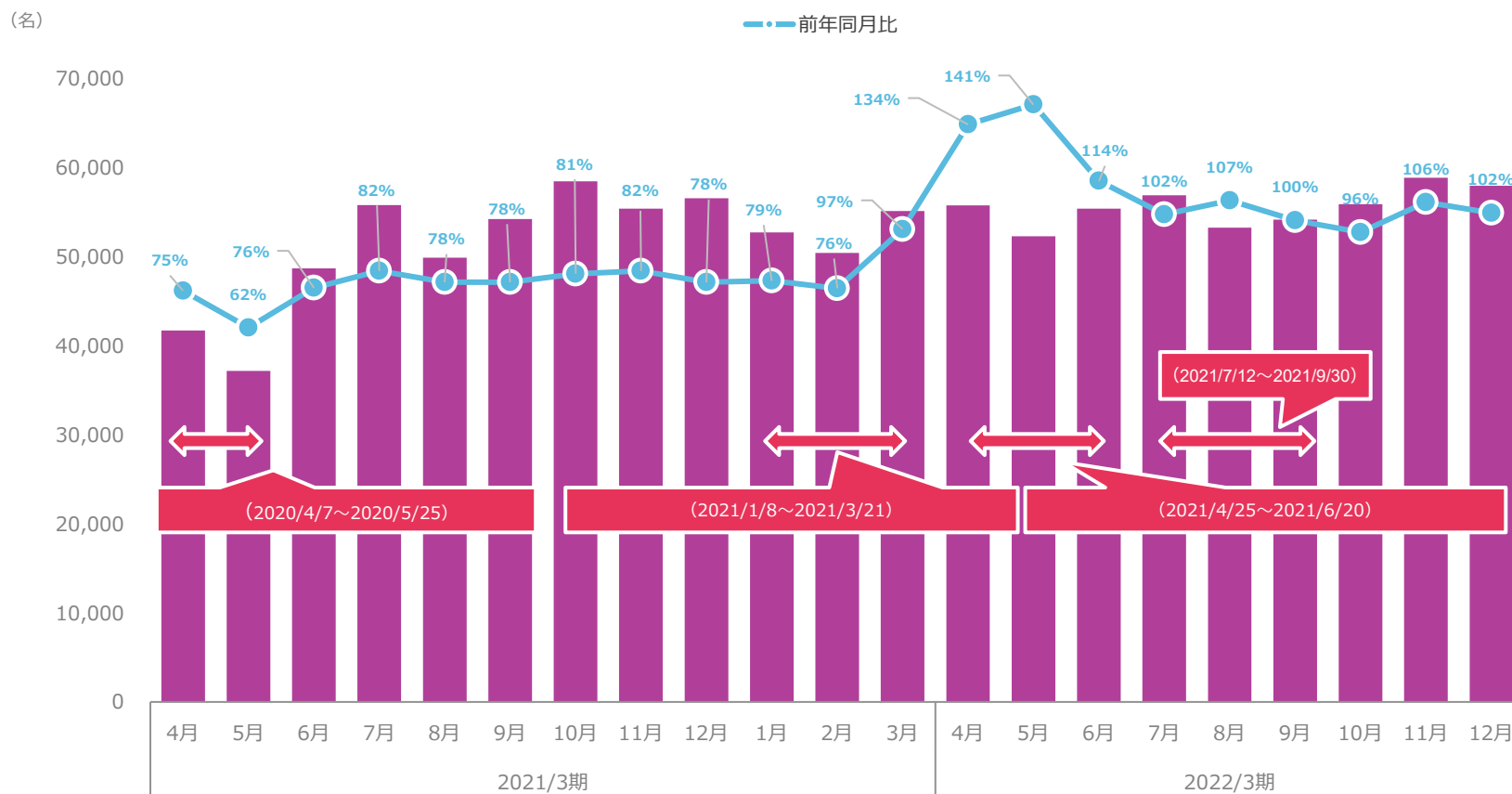


東京都における緊急事態宣言期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。

※利用者数は、保険適用マッサージ利用者を記載しております。

施術回数推移 (前年同月比)



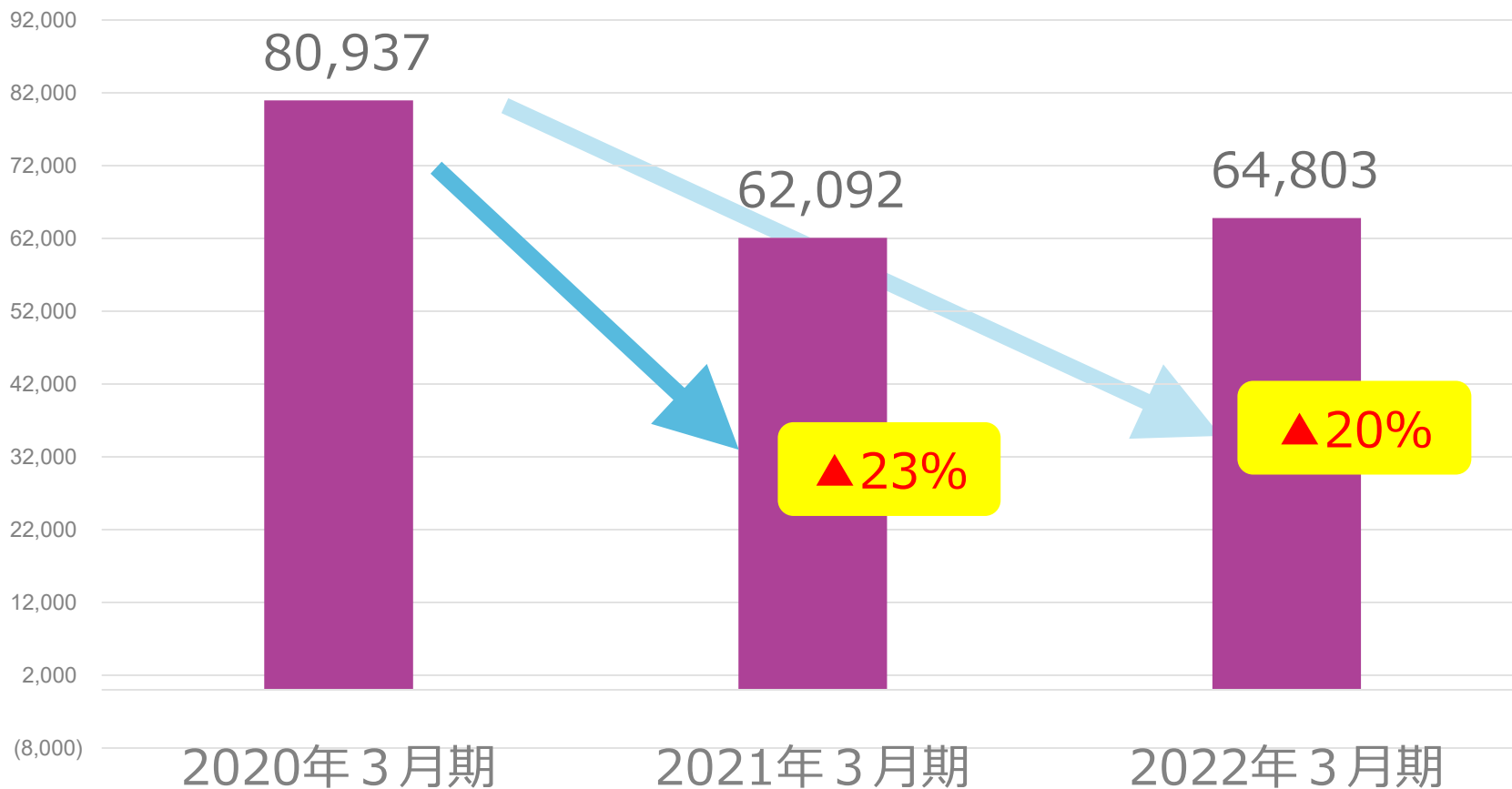
東京都における緊急事態宣言期間

※全て東京都の緊急事態宣言期間になっております。

※利用者数は、保険適用マッサージ利用者を記載しております。

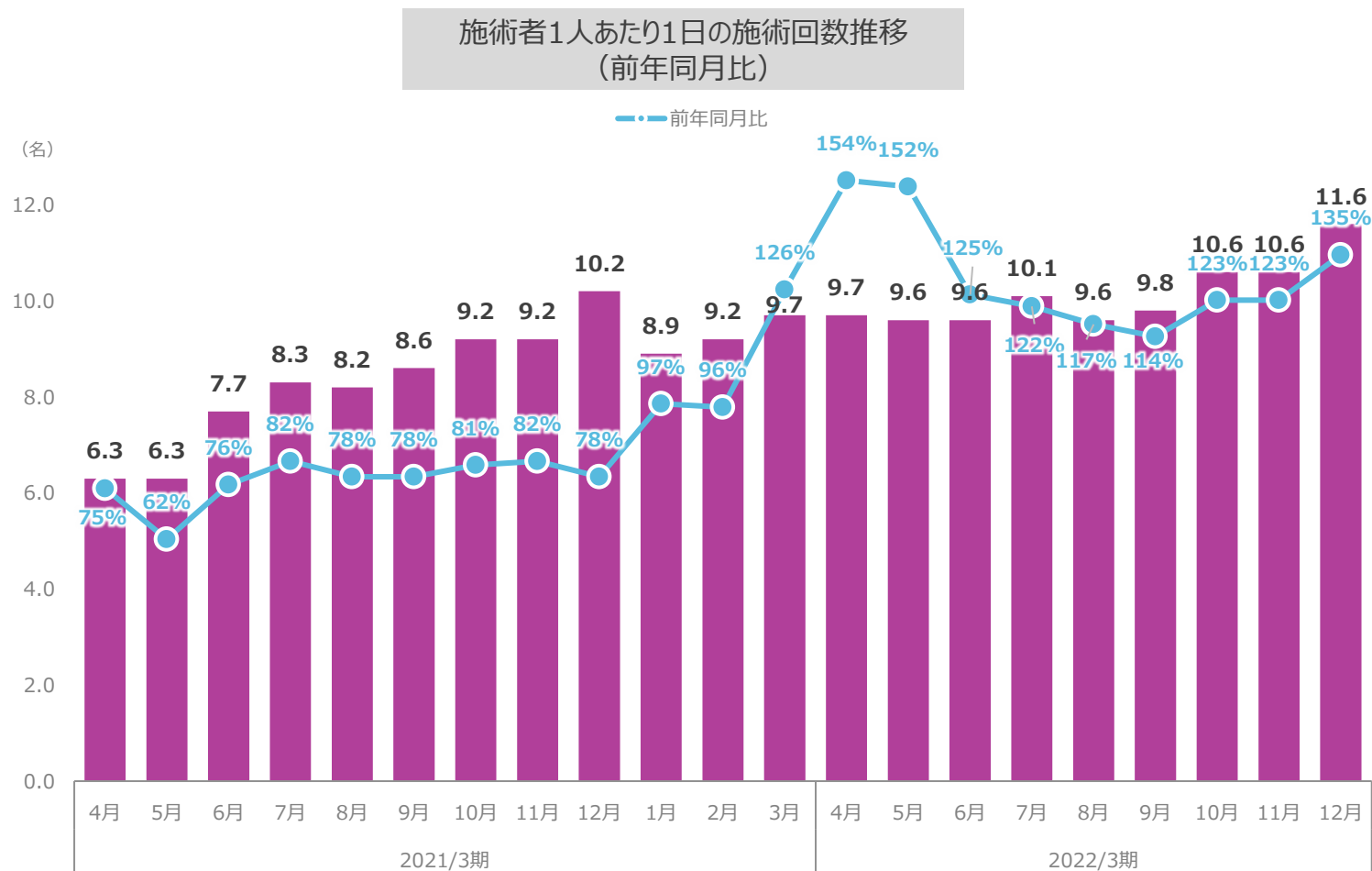
- 利用者数はコロナ禍前に比べて80%の水準だが、施術者1人当たりのマッサージ施術回数が増加しており、労働生産性が向上

利用者数（4月～12月累計）



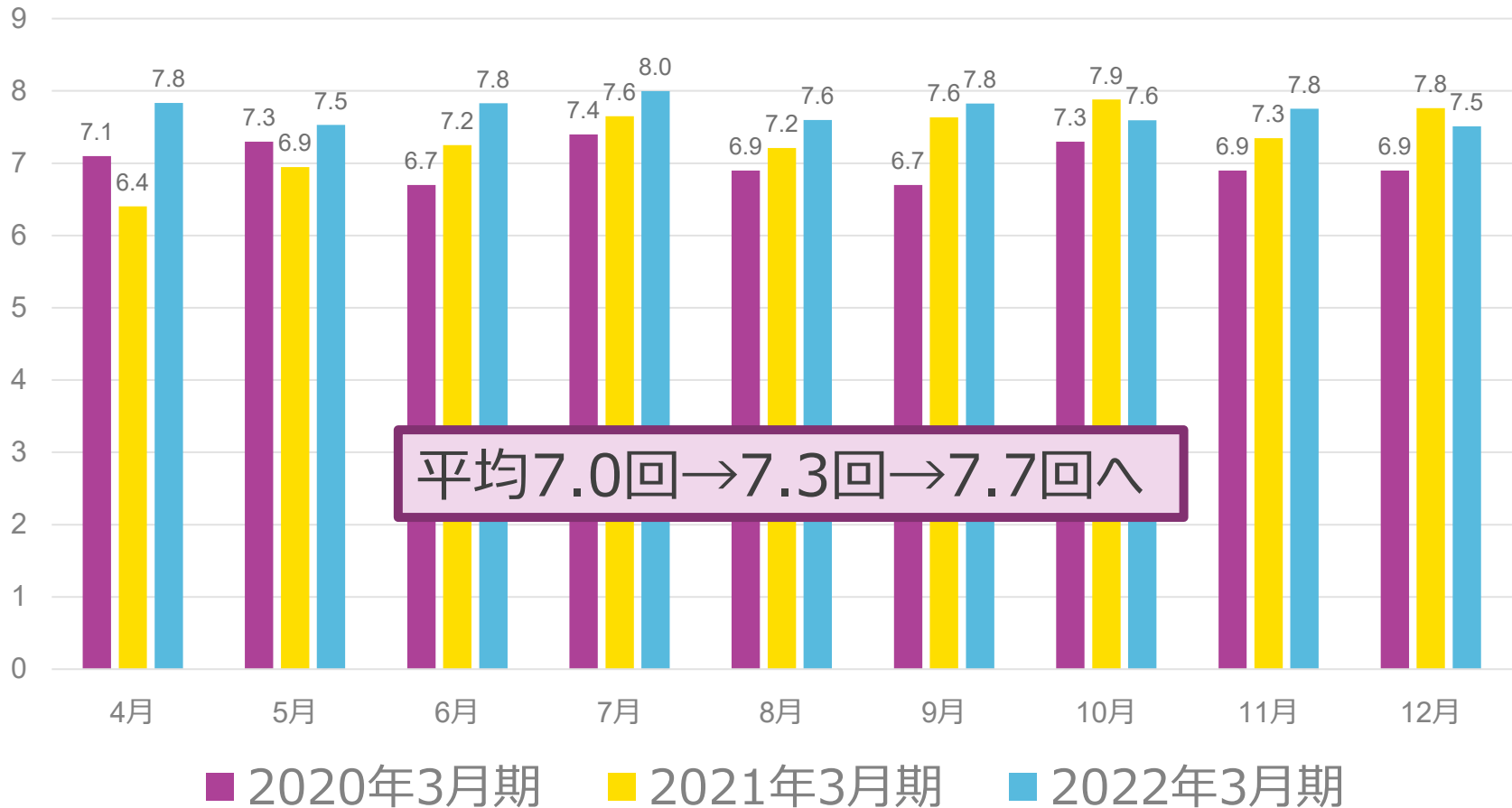
施術者 1 人当たりの 1 日の施術回数推移

- 施術者 1 人あたり1日の施術回数は前年同月比120%～130%前後の水準で推移



ご利用者様の症状悪化傾向が見られたため、高頻度でのサービス提供の推進を継続

利用者一人あたりの月間利用回数（4月～12月）

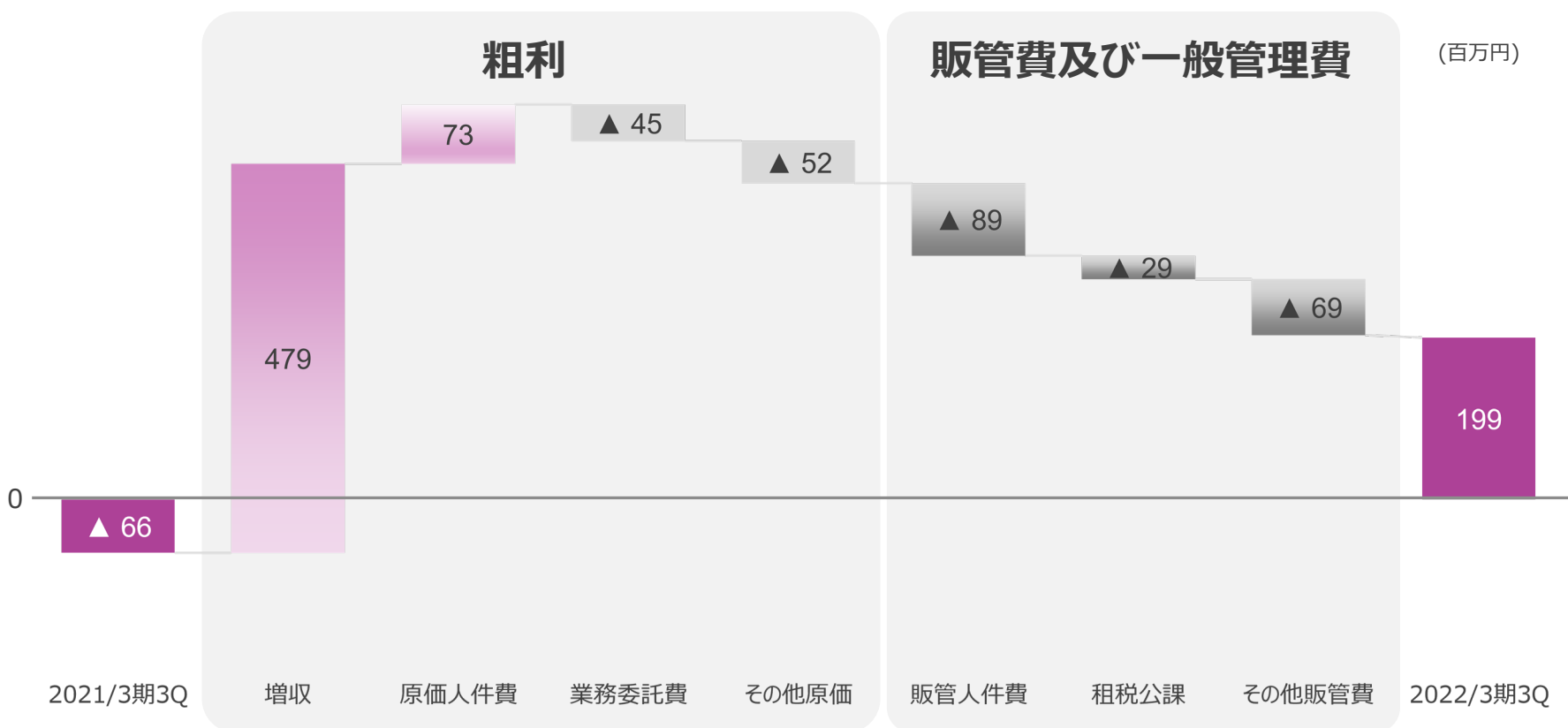


2022年3月期第3四半期 拠点数

- フランチャイズ加盟店は、フレアスブランドは2 Q比で12拠点の開設と1拠点の廃止により順調に推移。
- 訪問看護は千葉で1拠点開設

	2021/3月末 拠点数	2021/9月末 拠点数	2021/12月末 拠点数	対2Q比 増減数	2022/3月末 計画
在宅マッサージ	326	331	343	+12	346
うち直営店	89	84	85	▲1	85
うちフランチャイズ 加盟店	237	247	258	+11	261
訪問看護	5	6	7	+1	7
訪問介護	1	2	2	+0	2
看護小規模多機能型 居宅介護	—	—	—	—	1
合計	332	339	352	+13	356

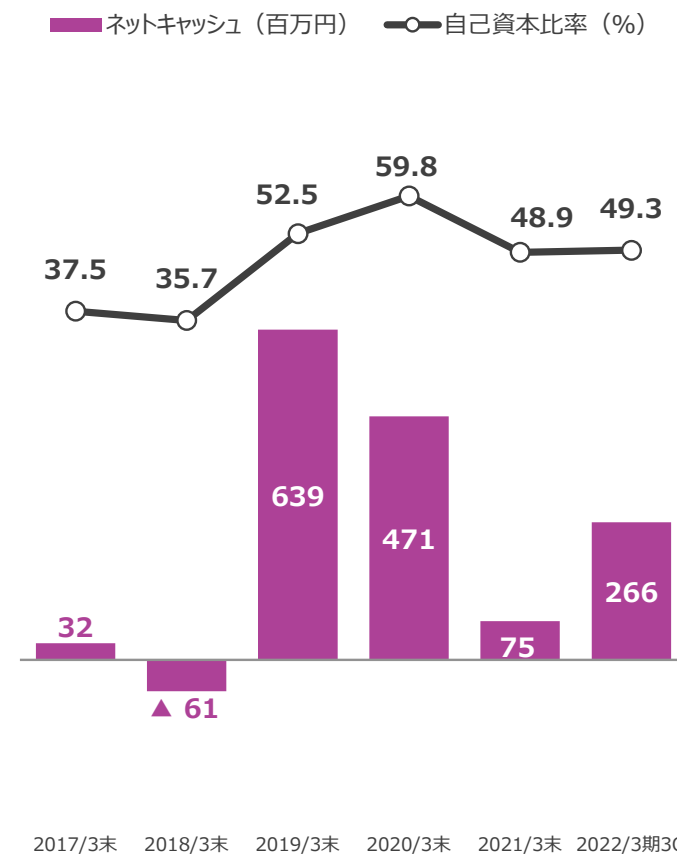
- マッサージ直営店事業における利用者数及び利用者一人あたり月間利用回数の増加や、マッサージフランチャイズ事業におけるロイヤリティ収入増加等により、売上高が増加
- コストサイドでは、労働生産性が向上した一方、売上増加に伴う費用が増加



バランスシート状況

- 借入金の返済と利益計上により、3月末の75百万円から266百万円のネットキャッシュへ
- 自己資本比率は49.3%と健全

(百万円)	2021/3末	2022/3期3Q	対前期末比
流動資産	2,535	2,838	+302
現預金	1,222	1,365	+142
売掛金	891	1,019	+128
固定資産	654	665	+11
有形固定資産	17	52	+34
無形固定資産	565	549	▲16
資産合計	3,189	3,504	+314
負債	1,630	1,769	+138
有利子負債	1,146	1,098	▲48
純資産	1,559	1,734	+175
負債純資産合計	3,189	3,504	+314



※ネットキャッシュ (ネットキャッシュ=現預金-有利子負債)



APPENDIX



2026年に目指す姿

- 自律的な組織のもとで、療養から看取りまでカバーする複数の事業を柱に育て上げ、日本の在宅事情をより明るくするため、総合的に支援する企業を目指す

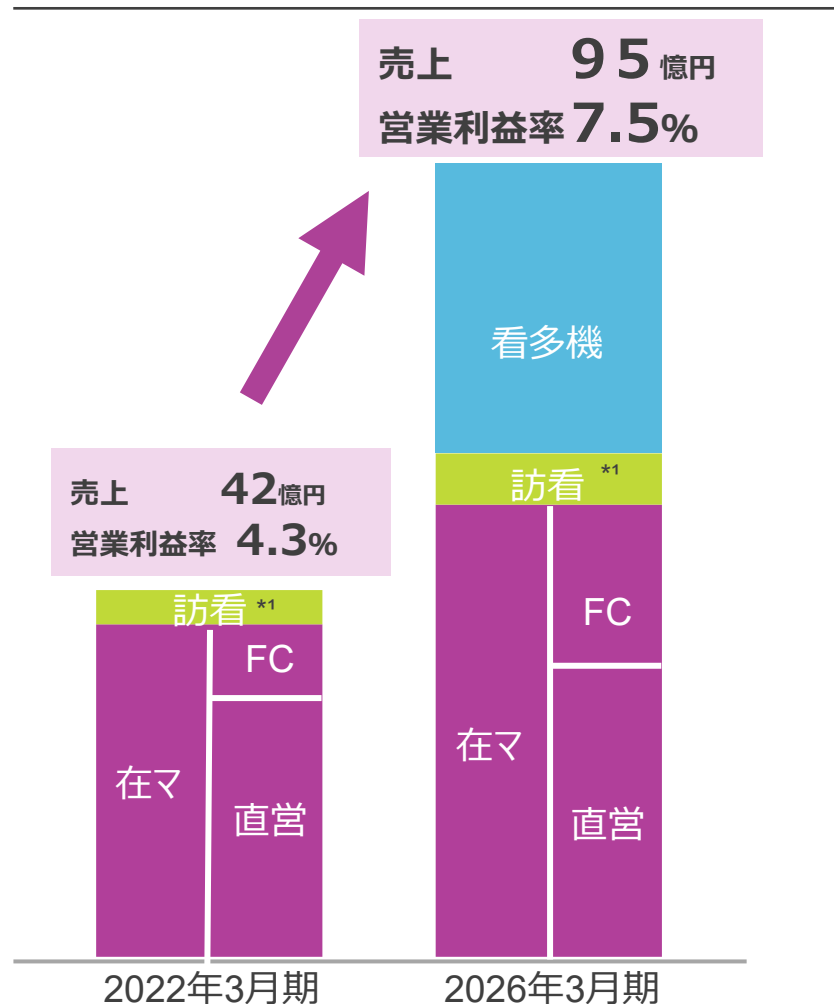


療養から看取りまで、日本の在宅事情をより明るく

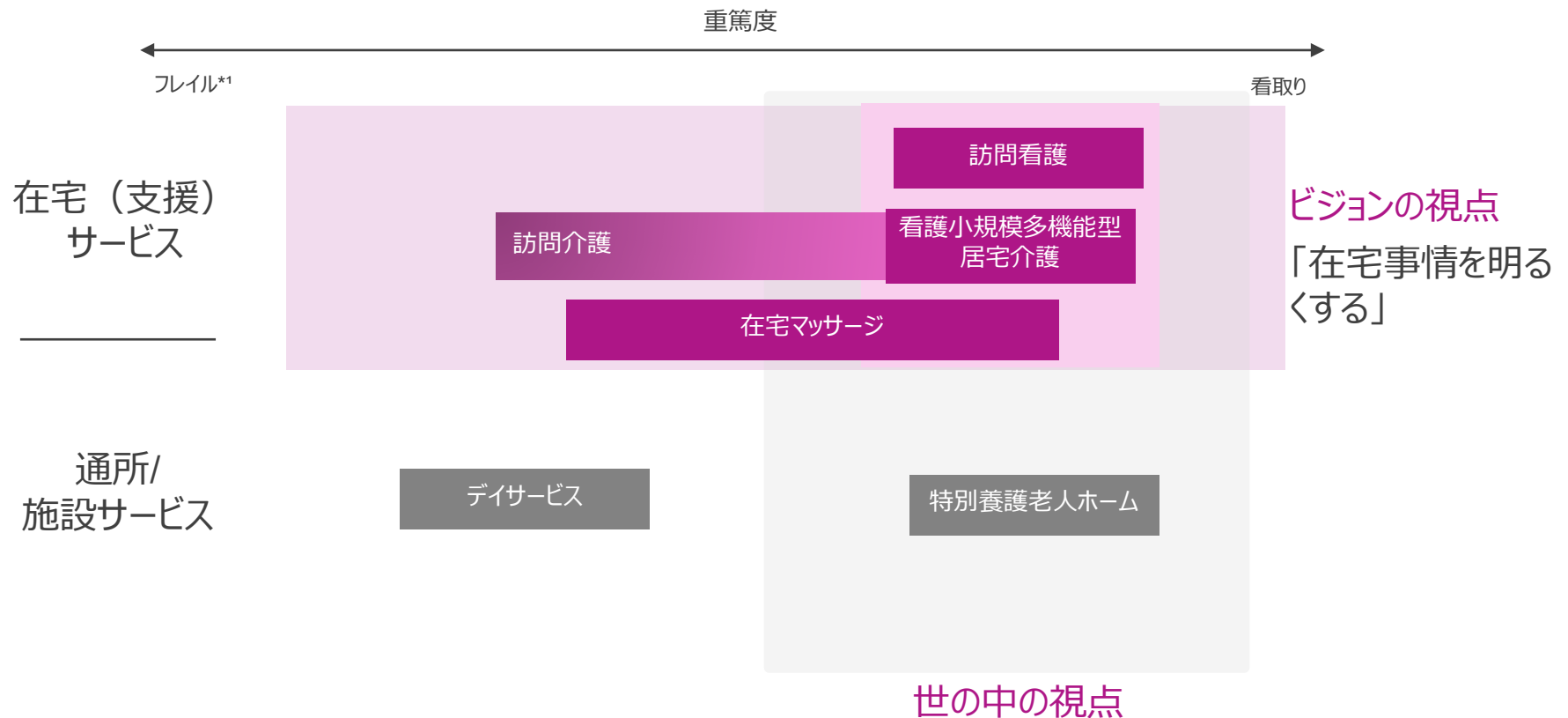


*1 訪問介護2拠点の売上を含む

売上・利益目標



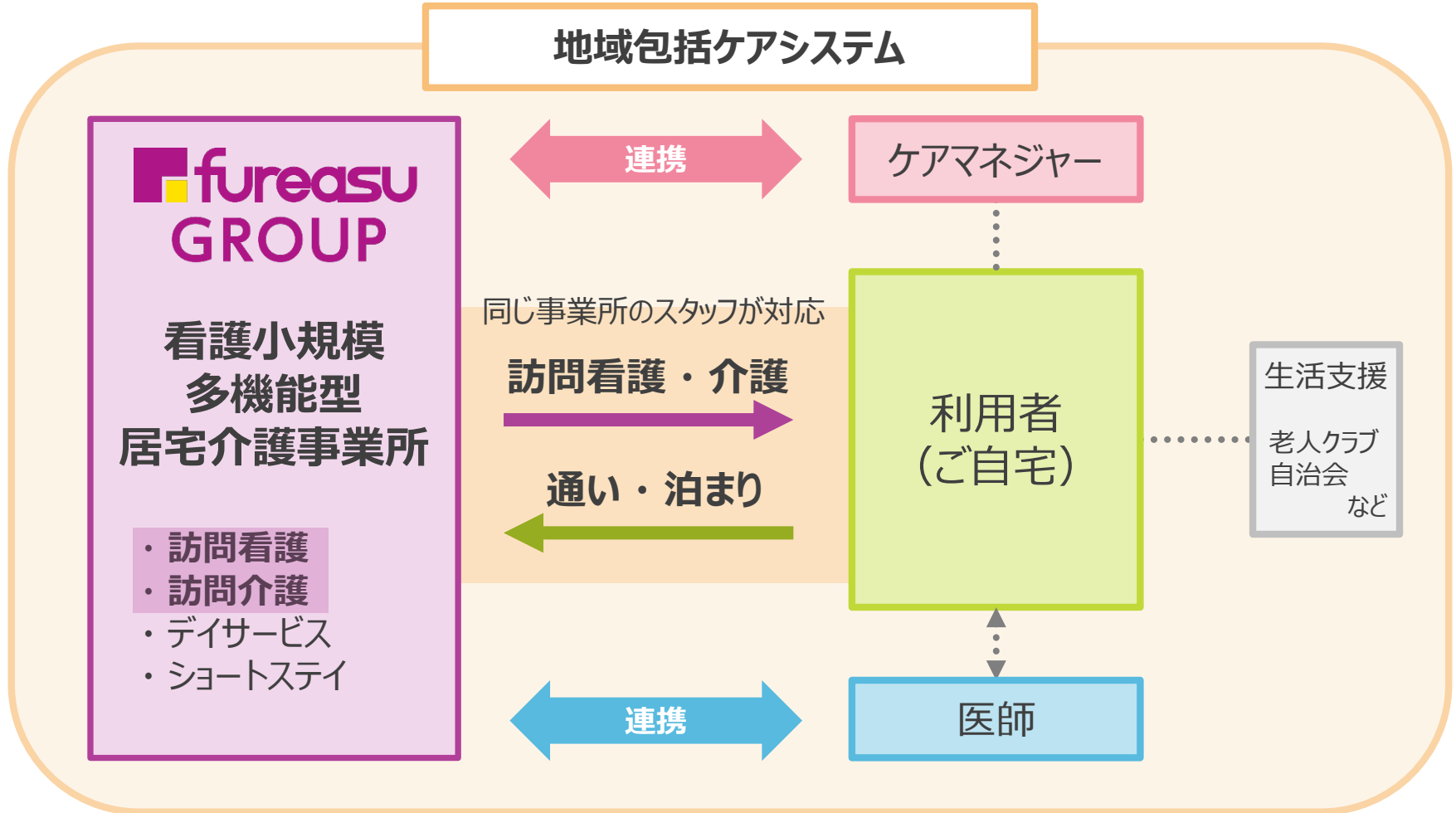
- ビジョンの実現と世の中の動向を踏まえ、在宅マッサージに加え、訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護を通じて、フレイルから看取りまで在宅領域をカバーする
- 創業から20年、在宅領域で培ってきた信頼とケアマネジャーとのネットワークを活用することでビジョン達成に近づける



*1 フレイル：加齢より体力や気力が弱まっている状態

今後増加する高齢者は、
より重篤度が高くなりやすい75歳以上の層

- 看護小規模多機能型居宅介護事業所の設立により、従来型の介護施設で行われていた通いや泊まりでの利用に加えて、訪問看護や訪問介護といった複合的なサービス提供が可能
- 従来の訪問看護・介護から機能拡張し、「地域包括ケアシステム」の中心的存在を目指す



- 在宅マッサージ、訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護への進出を加速
- 在宅マッサージはFC収益化モデルを強化、訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護はマネジメント人材の確保、全社としては成長の礎となる自律的組織の構築に取り組む

在宅マッサージ

FC中心の出店によるスピーディーな拡大

- 上場企業としての知名度・信頼が、FCオーナー加盟店を加速
- 全国で展開している直営店が旗艦店となり、FC店舗の集客・品質管理等をきめ細やかに支援

FC店舗の収益化モデル磨きこみ

- FC店舗が早期に収益化できるよう、有料老人ホーム等の施設との提携を拡大し、収益化モデルとして“型”に落とし込む

訪問看護・看護小規模多機能型居宅介護

エリアを見極めながら新設を推進

- 在宅マッサージの全国展開により構築してきた各エリアでのケアマネジャーとのネットワークを活用し、施設を垂直立ち上げ

マネジメント人材の確保

新たなエリア・メンバーで、お客様で事業を創り上げていくことができる、マネジメント人材の採用を積極化

全社

自主・自律的組織の構築

状況に即して対応・変化していけるよう組織の自主性・自律性を高める

3年間の数値目標

- 2026年3月期に目指す姿への到達に向けて新事業への先行投資を行いつつ、2024年3月期には売上高63億円、営業利益3億円を目指す

(百万円)	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
	実績	計画	計画	計画
売上高	3,672	4,267	5,202	6,311
マッサージ直営	2,988	3,273	3,588	3,732
マッサージフランチャイズ	394	619	841	1,053
訪問看護 ^{*1}	288	370	466	525
看護小規模多機能型居宅介護	—	4	305	999
営業利益	▲16	182	154	329
マッサージ直営	483	807	914	973
マッサージフランチャイズ	118	196	275	408
訪問看護 ^{*1}	14	▲7	12	32
看護小規模多機能型居宅介護	▲2	▲38	▲131	▲28
調整	▲630	▲774	▲917	▲1,055

* 1訪問介護2拠点の売上・営業利益を含む

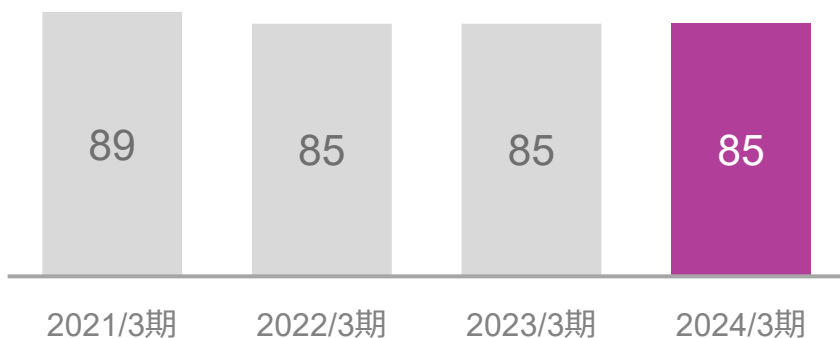
※訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護は現在はその他に分類しております

主要KPI：拠点数

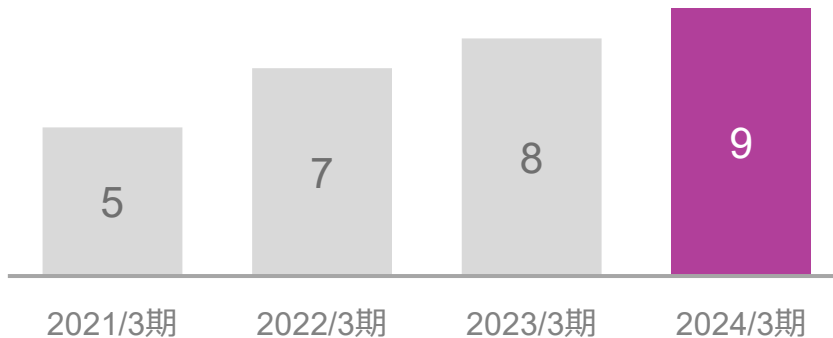
- 2024年3月期時点で、在宅マッサージ直営：85拠点、FC：382拠点、訪問看護：9拠点、看護小規模多機能型居宅介護：13拠点の運営を目指す

在宅マッサージ

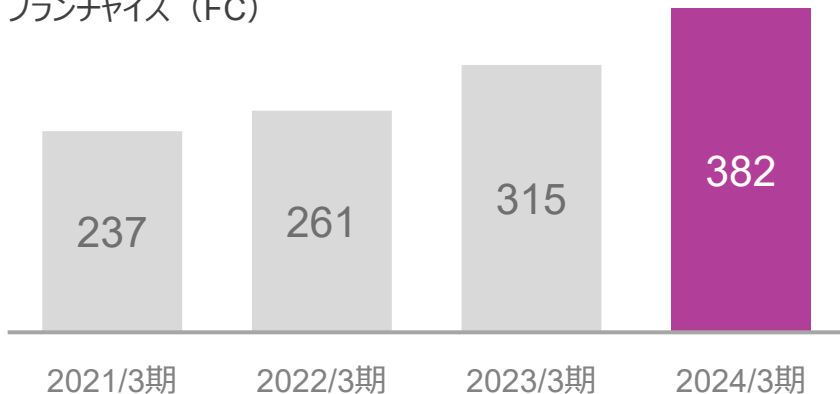
直営



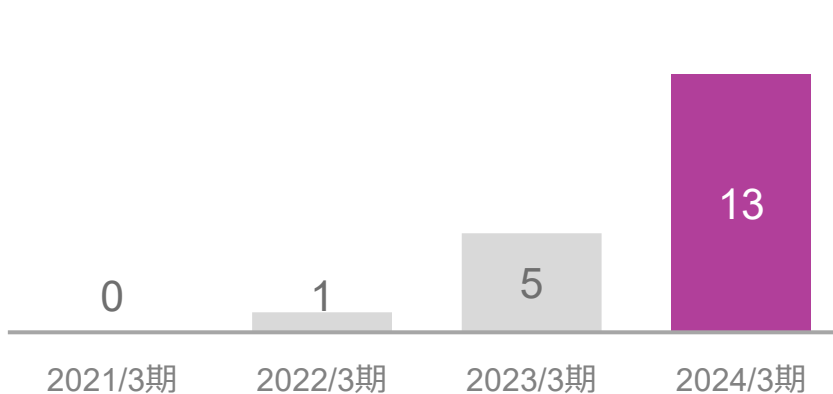
訪問看護



フランチャイズ (FC)



看護小規模多機能型居宅介護

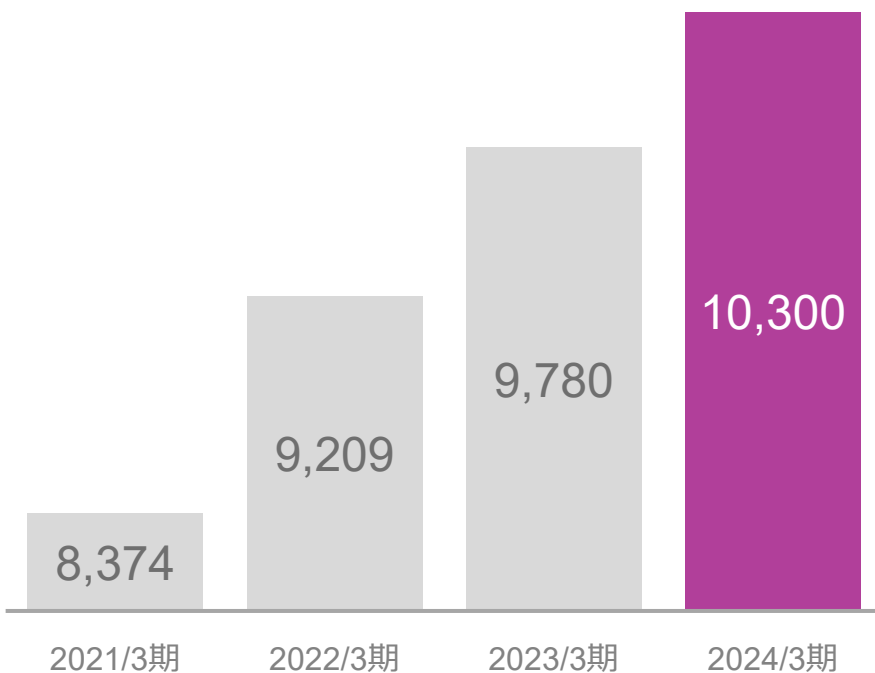


主要KPI：在宅マッサージ事業

- 2024年3月期時点で、在宅マッサージの総レセプト数10,300件、マッサージ年間利用回数762,216回を見込む

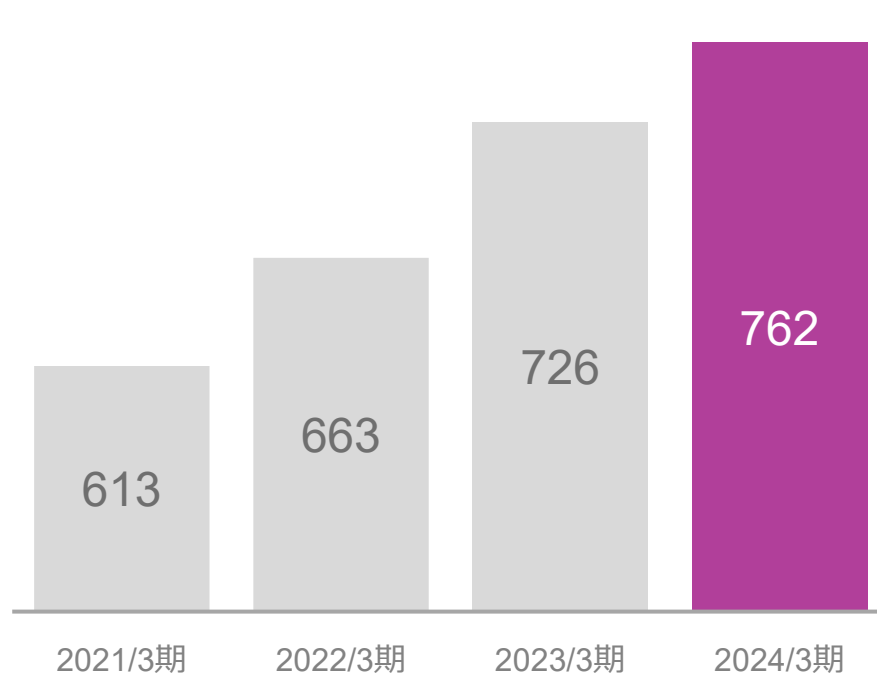
総レセプト数

(件)

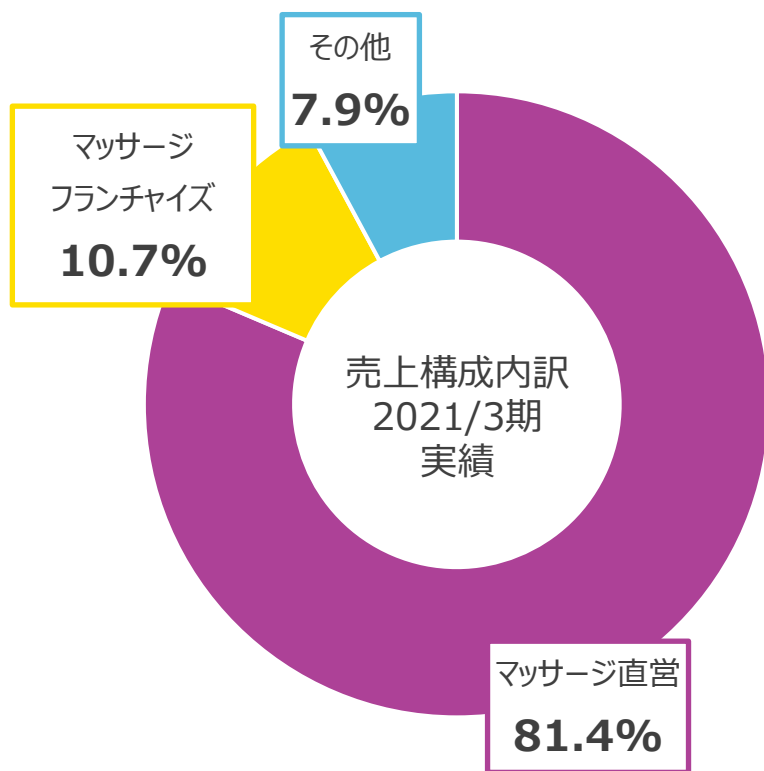


マッサージ年間利用回数

(千回)



- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施、新たに看護小規模多機能型居宅介護事業も開始予定



マッサージ直営・マッサージフランチャイズ事業

- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
 - ・ 事業所数：343拠点 (FC含む、2021/12末現在)
 - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」「レイス治療院」

その他の事業

- 利用者宅や高齢者施設等への訪問看護事業が主体
- 訪問看護・介護ステーションを運営(9拠点、2021/12末現在)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開



社名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.
代表者	代表取締役社長CEO 澤登 拓
創業年月	2000年7月（設立：2002年4月）
上場	2019年3月
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地
本社所在地	東京都渋谷区初台2丁目5-8西新宿豊国ビル2F
資本金	291,924（千円）〔2021年12月31日現在〕
事業内容	・マッサージ直営事業 ・マッサージフランチャイズ事業 ・その他の事業
売上規模	3,672,197（千円）〔2021年3月期〕
従業員数	621名〔2021年12月31日現在〕
拠点	352拠点（在宅マッサージ343、訪問看護7、訪問介護2） 〔2021年12月31日現在〕
連結総資産	3,517,311（千円）〔2021年12月31日現在〕

* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている211事業所を含む

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾナーレ八ヶ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場
2019年7月	保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズの本格展開を開始
2020年6月	株式会社レイスヘルスケアより新設分割された株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化
2021年4月	スカイハート株式会社の株式を取得し子会社化

決算年月		2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577	3,672,197
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700	102,695
親会社株主に帰属する当期純利益 又は、当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879	59,320
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638	290,394
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600	2,332,600
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815	1,559,357
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483	3,189,895
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23	668.20
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48	25.44
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8	48.9
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1	3.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433	▲99,729	▲99,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330	▲296,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071	82,128	464,349
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764	1,147,832	1,215,381
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)	593 (150)

* 2021/3期より連結財務諸表を作成しているため、2020/3期以前は参考情報として個別財務諸表に基づく数値を記載

* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施。
2017/3期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

<お問い合わせ先>
株式会社フレアス
03-6632-9210
ir@fureasu.jp